

倫理プリント

仏教

ガウタマ=シッダールタ



(i) 仏陀の教え

復習 【ブッダが悟った真理】 [1]] … 一切皆苦・諸行無常・諸法無我・涅槃寂静
 【苦の原因】 [2]]

これらの真理を人に伝えるため、^{したい}四諦(4つの真理)として変形させていく。

〈I〉 [3]] = 人生における苦しみは何か？これを直視しよう。

四苦八苦(人生は苦しいことばかり)

		・	苦しみの多いこの世界に生まれてしまったこと
		・	老いること、病気になること、死ぬこと
			愛するものと分かれる苦しみ
			嫌いなものに会わなければならない苦しみ
			欲しいものが得られない苦しみ
			肉体・感受作用・認識作用などの存在を構成する5要素による苦しみ

私は幸せだと思っても、新たな苦しみが始まるに過ぎない

- ・新しい彼氏ができた → 「いつか振られてしまうのではないか…」という恐怖・怯えが始まる
- ・欲しいブランド品が買えた → 周りがより良いものを持っていると、悔しくて新たな購買欲・焦りが始まる

〈II〉 [4]] = 苦しみの原因は何か？なぜ苦しいのか？

諸行無常：すべてのものは常に移り変わる。永遠ではない。
 諸法無我：すべてのものは、様々な原因によって存在する([5]])

↓ にも関わらず…

[6]] (自分を愛するエゴイズム)や[7]]が真実を見えなくしている



〈III〉 [8]] = 苦しみをなくすための方法は？

何事にも執着しないこと！一切の苦しみは消え、自由で安らかな境地に至ることができる。

〈IV〉 [9]] = 苦しみをなくすための修行を紹介しよう

[10]]：8つの正しい修行 (※出家者限定) ⇔ 出家できない在家者ではできる範囲の修行(五戒)

正見	正しい見方	欲と怒りでものを見ない	正命	正しい暮らし	乞食をして衣食を得る
正思	正しい考え方	欲と怒りでものを考えない	正精進	正しい努力	適度な努力(中道)
正語	正しい言葉	嘘・悪口・飾った言葉はNG	正念	正しい心配り	正見を心に留め、自覚を失わない
正業	正しい行い	殺生・盗み・性交はNG	正定	正しい瞑想	心を開放し、ゆったり構える

これができるれば、**解脱**の達成！すべての欲望が消滅した安らぎの境地に至ることができる！

さらに仏陀は、解脱した人が次にすべきこととして、[11]]の実践を説く

「仏陀は **智慧** と **慈悲** の二本足で立つ」 ▶智慧：悟りのこと ▶慈悲：他者に喜びを与え、苦しみを取り除くこと

「生ある全ての存在 (= [12]]) の幸せを願い、隔てなく同情・共感していこうよ。」

(ii) 仏教の展開

■ 仏陀の死後

仏陀は弟子を指導しながら 80 年の生涯を終えた。

→ 教えを実践する人は、出家修行者と在家信者から成る仏教教団として活動。

▲ 厳しい修行 ▲ 出家修行者の世話

※在家修行者になる条件

- ① 三宝(仏・法・僧)への帰依を誓うこと
- ② ①をやった上で戒を受けること
(善い習慣を身につける誓い)

↓
仏陀の死後 100 年 … 規則の解釈のずれにより教団が分裂

- ・ [13] 部(現実派) ⇔ [14] 部(厳格派)
- ・ その後も分裂し続け、最終的に 20 の部派が並び立つ = 部派仏教

批判して改革運動へ

大乘仏教 - 進歩的

言行よりも仏陀の精神を重視し、慈悲の実践による
他者への救いを中心とする考え方

★理想像 = [15] (自らで悟りを開き、衆生の救済に努める者)
あくまでも目標は仏陀そのもの！

上座部仏教 - 保守的

仏陀の言行・戒律を忠実に守り、
厳しい修行を重視する考え方

★理想像 = [16] (仏陀より下位だが修行僧の最高位)
修行僧として他者に尊敬される人に！

■ 大乘仏教の展開

その後、大乘仏教は中国・朝鮮・日本へ(北伝仏教)、上座部仏教はスリランカや東南アジアへ伝播(南伝仏教)
中でも大乘仏教の思想・展開は出題されるため、詳細をまとめておきます。

大乘仏教の思想

★[17] … 出家せず在家のままであっても、全ての人が仏陀になれる可能性を秘めている

★[18] の徳目 … 菩薩が実践すべきものをまとめたもの。詳細は教科書を確認しておこう。

👤 [19] (ナーガールジュナ) (150?~250?): 大乘仏教の中心的思想「空」の思想を展開

- ・ **空の思想とは** … 仏陀の教えでは、「諸法無我」に基づくと永遠不変なものは無いと言いつつも、
一方で「縁起」によっては相互依存しあうことで存在があるという考えもできる。
このように、万物は見方によってあるともないとも考えられるということ。

結論 物事は他とのかかわりあいによって存在するという縁起を改めて徹底し、
無差別・平等な人間の在り方を問い直した。→ 菩薩の利他的行いや慈悲の実践を基礎づける

👤 [20] (アサンガ) (395?~470?) & [21] (ヴァスバンドゥ) (400?~480?) 兄弟

- ・ [22] … 空の思想について研究していく中で、新たに生まれた考え方
あらゆる事物の実体は無く、私たちの主観が作りだした表象にすぎない。

結論 人により世界に対しての感じ方は異なるため、心を整える活動が重要！
→ 心の活動を転換するための修行として [23] (精神統一) を重視 → 禅の修行へ継承

倫理プリント

仏教

ガウタマ=シッダールタ



(i) 仏陀の教え

復習 【ブッダが悟った真理】 [1 **四法印**] … 一切皆苦・諸行無常・諸法無我・涅槃寂静
 【苦の原因】 [2 **煩惱**]

これらの真理を人に伝えるため、^{したい}四諦(4つの真理)として変形させていく。

〈I〉 [3 **苦諦**] = 人生における苦しみは何か？これを直視しよう。

四苦八苦(人生は苦しいことばかり)

八苦	四苦	生・老 病・死	苦しみの多いこの世界に生まれてしまったこと 老いること、病気になること、死ぬこと
	愛別離苦(あいべつりく)		愛するものと分かれる苦しみ
	怨憎会苦(おんぞうえく)		嫌いなものに会わなければならない苦しみ
	求不得苦(ぐふとくく)		欲しいものが得られない苦しみ
	五蘊盛苦(ごうんじょうく)		肉体・感受作用・認識作用などの存在を構成する5要素による苦しみ

私は幸せだと思っても、新たな苦しみが始まるに過ぎない

- ・新しい彼氏ができた → 「いつか振られてしまうのではないか…」という恐怖・怯えが始まる
- ・欲しいブランド品が買えた → 周りがより良いものを持っていると、悔しくて新たな購買欲・焦りが始まる

〈II〉 [4 **集諦**] = 苦しみの原因は何か？なぜ苦しいのか？

諸行無常：すべてのものは常に移り変わる。永遠ではない。
 諸法無我：すべてのものは、様々な原因によって存在する([5 **縁起**])

↓ にも関わらず…

[6 **我執**] (自分を愛するエゴイズム)や[7 **煩惱**]が真実を見えなくしている



〈III〉 [8 **滅諦**] = 苦しみをなくすための方法は？

何事にも執着しないこと！一切の苦しみは消え、自由で安らかな境地に至ることができる。

〈IV〉 [9 **道諦**] = 苦しみをなくすための修行を紹介しよう

[10 **八正道**]：8つの正しい修行 (※出家者限定) ⇔ 出家できない在家者ではできる範囲の修行(五戒)

正見	正しい見方	欲と怒りでものを見ない	正命	正しい暮らし	乞食をして衣食を得る
正思	正しい考え方	欲と怒りでものを考えない	正精進	正しい努力	適度な努力(中道)
正語	正しい言葉	嘘・悪口・飾った言葉はNG	正念	正しい心配り	正見を心に留め、自覚を失わない
正業	正しい行い	殺生・盗み・性交はNG	正定	正しい瞑想	心を開放し、ゆったり構える

これができれば、**解脱**の達成！すべての欲望が消滅した安らぎの境地に至ることができる！

さらに仏陀は、解脱した人が次にすべきこととして、[11 **慈悲**]の実践を説く

「仏陀は **智慧** と **慈悲** の二本足で立つ」 ▶智慧：悟りのこと ▶慈悲：他者に喜びを与え、苦しみを取り除くこと

「生ある全ての存在 (= [12 **一切衆生**]) の幸せを願い、隔てなく同情・共感していこうよ。」

(ii) 仏教の展開

■ 仏陀の死後

仏陀は弟子を指導しながら 80 年の生涯を終えた。

→ 教えを実践する人は、出家修行者と在家信者から成る仏教教団として活動。

▲ 厳しい修行 ▲ 出家修行者の世話

※在家修行者になる条件

- ① 三宝(仏・法・僧)への帰依を誓うこと
- ② ①をやった上で戒を受けること
(善い習慣を身につける誓い)

↓
仏陀の死後 100 年 … 規則の解釈のずれにより教団が分裂

・ [13 大衆]部(現実派) ⇔ [14 上座]部(厳格派)

・ その後も分裂し続け、最終的に 20 の部派が並び立つ = 部派仏教

批判して改革運動へ

大乘仏教 - 進歩的

言行よりも仏陀の精神を重視し、慈悲の実践による
他者への救いを中心とする考え方

★理想像 = [15 菩薩] (自らで悟りを開き、衆生の救済に努める者)
あくまでも目標は仏陀そのもの！

上座部仏教 - 保守的

仏陀の言行・戒律を忠実に守り、
厳しい修行を重視する考え方

★理想像 = [16 阿羅漢] (仏陀より下位だが修行僧の最高位)
修行僧として他者に尊敬される人に！

■ 大乘仏教の展開

その後、大乘仏教は中国・朝鮮・日本へ(北伝仏教)、上座部仏教はスリランカや東南アジアへ伝播(南伝仏教)
中でも大乘仏教の思想・展開は出題されるため、詳細をまとめておきます。

大乘仏教の思想

★[17 一切衆生悉有仏性] … 出家せず在家のままであっても、全ての人が仏陀になれる可能性を秘めている

★[18 六波羅蜜]の徳目 … 菩薩が実践すべきものをまとめたもの。詳細は教科書を確認しておこう。



[19 竜樹] (ナーガールジュナ) (150?~250?): 大乘仏教の中心的思想「空」の思想を展開

- ・ **空の思想とは** … 仏陀の教えでは、「諸法無我」に基づくと永遠不変なものは無いと言いつつも、
一方で「縁起」によっては相互依存しあうことで存在があるという考えもできる。
このように、万物は見方によってあるともないとも考えられるということ。

結論

物事は他とのかかわりあいによって存在するという縁起を改めて徹底し、
無差別・平等な人間の在り方を問い直した。→ 菩薩の利他的行いや慈悲の実践を基礎づける



[20 無着] (アサンガ) (395?~470?) & [21 世親] (ヴァスバンドゥ) (400?~480?) 兄弟

- ・ [22 唯識論] … 空の思想について研究していく中で、新たに生まれた考え方
あらゆる事物の実体は無く、私たちの主観が作りだした表象にすぎない。

結論

人により世界に対しての感じ方は異なるため、心を整える活動が重要！
→ 心の活動を転換するための修行として [23 ヨーガ] (精神統一) を重視 → 禅の修行へ継承